

國立成功大學

111學年度碩士班招生考試試題

編 號： 29

系 所： 台灣文學系

科 目： 外文文學文獻解讀（日文）

日 期： 0219

節 次： 第 4 節

備 註： 1.不可使用計算機
2.此考科可攜帶紙本字典入試場

※ 考生請注意：本試題不可使用計算機。請於答案卷(卡)作答，於本試題紙上作答者，不予計分。

一、次の文章を訳しなさい。それからシネクドキーとは何かを説明してください。（25%）

例文：「Aさん、おめでたらしいよ。」

「おめでた」という語は、形容詞の「おめでたい」の語幹が名詞化した表現であるが、〈妊娠（お腹に子どもができたこと）〉という狭い意味が定着している。さて、例文とはほぼ同じ意味を表すのに、「Aさん、妊娠したらしいよ」と言うこともできるが、「妊娠」という言葉を使うと、「性的行為」の結果であることを連想させやすく、露骨な表現という印象を持つ人が多いであろう。一方、「おめでた」の方は、もとの形容詞の「おめでたい」が種々様々なおめでたいこと一般を表すことができることから、〈妊娠〉の意味で使われた場合にも、形容詞の本来の意味が二次的に活性化され、婉曲的な表現になると考えられる。

以上、シネクドキーが、本来の意味の二次的活性化によって、婉曲表現として機能する場面があることを見た。

（初山洋介（2014：51）『日本語研究のための認知言語学』研究社）

二、次の文章を（台湾語あるいは中国語・英語のどちらかに）訳しなさい。（25%）

月が満ちては欠けを二回繰り返すと冬は遠退き、春の温もりが訪れた。

〈島〉には暦というものはないが、雨の日が少なくなり、気温がある程度まで上昇すると、季節の流転が自ずと体感的に分かる。冬の間を潜めていた多くの花が蕾をつけ始める頃、休業していた漁師や農家も作業を再開した。水田では牛が、畑では馬が鋤を牽いて耕した。田植えはかなり人手が必要なので、同じ集落に住む高等部の子供たちや手が空いている大人たちも手伝った。

〈島〉では米は二期作で、春先に植えた苗は夏の中頃には収穫できる。

（李琴峰（2021：114）『彼岸花が咲く島』文藝春秋）

三、請將這段日文重點翻譯成中文或台文。（25%）

1880年英国から府城（台南）にやってきた医師の馬雅各（マクスウェル、James Laidlaw Maxwell, 1836-1921）は教会に一台の印刷機や部品などを寄付した。これは台湾で初めての活字印刷機であった。印刷機具（排字架、鉛字など十一箱）が台湾に到着した後、巴克礼（パークレー、Thomas Barclay, 1849-1935）牧師がすぐさま書店と印刷出版事業を立ちあげた。巴牧師が英国に戻り文字組などの技術を確認した。1884年に台湾に戻るとすぐに印刷機を完成させて、印刷作業を始めた。巴牧師は書店の名前を「聚珍堂」と命名した。これが今日の「新樓書房」である。印刷機は

白話字聖書以外にも新聞の印刷に使われた。それが 1885 年 7 月巴牧師が創刊した《台湾府城教会報》（今日の《台湾教会公報》）であった。これは台湾における最初に印刷された新聞、平面媒体であった。そして 1969 年以前には白話字で書かれた台湾語出版物であった。

四、請將這篇日文重點翻譯成中文或台文。（25%）

1945 年 8 月 15 日、日本の天皇が連合軍に正式に投降を宣言するまで、台湾は日本に属する土地だった。1945 年 9 月 2 日、連合軍マッカーサー元帥が第 1 号命令を發布したことにより、中国(満州を除く)、台湾及び北緯十六度以上のベトナムは蒋介石が日本軍投降を処理をすることになり、インドネシア及び北緯十六度以下のベトナムはイギリス軍とオーストラリア軍により調停処理されることになった。

これに照らしてみれば、蒋介石は日本軍投降したのち、台湾を撤退するべきである。そして韓国や琉球諸島のように、台湾はある一定の期間、米国軍政府の委任統治を受けた後は、そこに住む台湾人公民投票により台湾の未来が決められるべきである。しかしながら残念なことに、蒋介石政権は中国内戦で中国共産党に敗れたため台湾を占領し、台湾を中国の一部と公言するしかなかった。その後、朝鮮戦争やベトナム戦争が相次いで起こり、アメリカは蒋介石による中国共産党の包囲を利用し、さらに台湾の地位を故意に曖昧にし、一時的に蒋介石の亡命政権を台湾に留めさせたのである。

一時しのぎの機会を得た蒋介石政権は、台湾人への感謝を知らず、むしろ 38 年(1949～1987 年)までの長きにわたる戒厳へと変貌し、独裁統治を実施した。蒋介石政権が台湾を占領した期間には、経済搾取、政治圧迫や文化軽視政策などを行い、台湾民衆は生活が困窮し、極度の不満を引き起こした。西暦 1947 年 2 月 28 日、民衆たちは行政長官公署前広場に集まり請願のデモを行ったが、公署衛兵による射撃掃射を受け、これをきっかけに台湾全土で起義抗争が勃発した。その後さらに蒋介石は中国から数万の軍隊を台湾へ派遣し、武力を以って民衆を鎮圧し、わずか三ヶ月の間で約三万人の台湾人の命が失われた。これが台湾近代史における「二二八大虐殺」である。

このほか、蒋介石政権は教育やマスコミを通して長期間にわたり台湾人に対し中国化の洗脳活動を行い、台湾人の教育権を剥奪し、台湾人が自分たちの言語、文学、歴史や文化などを学習することを禁じた。このことは、元来台湾語を母語として使用していた台湾人に、中国の北京語を学習するように強いるものだった。多くの若い世代の台湾人はすでに台湾語の能力を失っている。また蒋介石政権は中国北京語による創作活動を支持し、台湾は中国の一省の「反共文学」作家であると主張した。台湾語創作や台湾人の観点を有する真の文学創作は厳重に禁止され、周辺化された。その結果、台湾人民の心情を反映する真の文学は抑圧され、蒋介石亡命政権に属する難民文学が台湾文学の代表作品であると故意に捏造されることとなった。